

初期教材用 教案 (勘長音編)

【 センシティ土曜にほんご学級 】

【 教案・カードの枚数・授業時間(15分～30分程度)は各教室の状況に合わせて実施してください。】

学習目標： 勘長音が正しく、発話・表記できる。

教材 (カード)	活 動 内 容	留 意 点
でんしゃ じてんしゃ きゅうしょく やきゅう きょうしつ がびょう びょういん ちゅうしゃ ちゅうしゃ かぼちゃ にんぎょ にんぎょう きゅうり きょうだい	T : 「これはなに？」 カードです。 これは何ですか。 S : でんしゃ T : はい、これはでんしゃですね。 でんしゃ。どうぞ。 S : でんしゃ T : そうですね。では、これは。 S : きゅうしょく (順次聞いていく。) T : 字を書きます。 △△さん、どうぞ。紙に書きます。 T : △△さん、読んでください。 T : これでいいですか。 S S : はい、いいです。 T : 字のカードを貼ります。 みなさんは、絵のカードを貼ります。 (全部貼り終えたところで) T : これでいいですか。 S S : はい、いいです。 T : みんなで読みます。 T : 今日の勉強はこれで終わります。 (では、ゲームをしましょう。)	「これはなに？」を板書し、発話する。 カードの束を示し、「カード」の語を入れる。 ホワイトボードに1枚ずつ絵カードを貼る。 学習者に発話を促す。丁寧に発音の指導をする。(拍や○○を使って指導) 絵カードの隣に字カードを貼る。キューで一斉に発話させる。 書く前に、字カードをはずす。 ワークシートに書かせる。 生徒、前にでて、書く。 発音と表記を確認する。正確な発音ができるように練習させる。全員にも発話させる。表記に間違いがあった場合は訂正する。 (正しいカードを貼る。) 字カードをすべて貼る。 学習者に絵カードを貼らせる。 アトランダムに絵を指してコーラス・個人で発話させる。

〈カードを使ったゲーム〉

- ①絵カードだけを場に置く。先生、または生徒の一人が字カードを読み上げ、場のカードを取る。
- ②字カードだけを場に置く。先生が黙って絵カードを生徒に示す。生徒は場の字カードを正しく発話してから取る。
- ③神経衰弱ゲーム 絵カード、字カードとも裏にして場に置く。字カードをめくって2枚を合わせる。